

## 学校統合についての地域説明会（会場：南中学校）

1. 日 時 平成24年11月18日（日） 13時30分～15時30分
2. 場 所 南中学校 体育館
3. 出席者 49人
4. 内 容

### 《教育長あいさつ》

お忙しいところ、本日は風が冷たいところお集まりをいただきましてありがとうございます。本日お集まりの、区長さん、民生委員・児童委員、学校運営協力員、青少年指導員、そして保護者の皆様には、日ごろから、それぞれいろいろなお立場から、学校教育に対しましてご協力をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。

さて、児童・生徒の数が減少しています。さらに憂慮すべきことに、南中学校区の牛渡小学校において平成29年度には複式学級ができます。牛渡小学校に今年入学した児童は9人でした。北中学校区の志土庫小学校では、今年入学した児童は8人でした。志土庫小学校も平成26年度には複式小学校になります。小規模の学校は小規模の学校なりにより教育を施しているとは思いますが、一人ひとりに目が行き届いた教育を、実際にどの学校でも行っていて、大変ありがたいことだと思っておりますが、あまりにも小さすぎてチームプレイもできなく、学校行事の際には非常に寂しいものです。これからを生きる子どもたちをたくましく、また、社会性を育てたりするには、ある程度の人数が必要なのではないかとということで、学校がなくなることで寂しいという感傷に浸っている場合ではなく、統合によって適正な規模の学校をつくるべきだと考えております。

そのためにどのようにしたらいいのか、一番心配なのは、学校が遠くなることによって生ずる登下校の安全のことだと思っております。それには、スクールバスを運行して、登下校の安全性を確保する。これは、交通事故のことばかりではなく、不審者対策にもなると思っております。そのためにもスクールバスは必ず運行しなくてはならないことだと思っております。施設・設備も新しくして子どもたちを迎えたいと思っております。北中については、教室・体育館は現状のままで大丈夫ですが、プールは老朽化しておりますので、プールは撤去して、バスの発着所などをつくることを考えております。美並小学校については、南中学校区の小学校が集まる予定となっておりますが、これから耐震工事が始まる運びとなっており、教室数も増やし、大規模改修をしてきれいな校舎にしたい。プールは撤去し、多目的会館跡地を美並小学校用地とした部分を利用し、グラウンドを拡張したいと思っております。また、全く計画

の段階ではありますが、拡張した部分にプールを建設し、南中学校の生徒も、北中に集まる児童たちも、みんなそのプールを使うようなことを考えております。3つの学校が一つのプールを利用することで、プール学習の期間を長くとる必要がありますので、屋根付きのプールを建設して対応したいと考えます。学校用のプールについては、霞ヶ浦地区で一つにすることを考えています。また、スクールバスの発着所も建設したいと思っております。校舎は、大規模改造を行うと新築同様となります。トイレなども一新し、児童・生徒たちが新しい気持ちになれるように、施設を整備したい。また、人的配置について、図書館の司書は中学校に一人ずつ入っているだけで、小学校へは、1ヶ月に1、2回ずつ回っている状態です。統合後には、各学校に一人ずつ設置して、図書館には常に誰かがいて、本がきれいに整頓されている、使いやすく温かい図書館をつくっていきたいと考えているところです。英語指導助手についても、小学校で英語の学習ができましたが、現在は13小学校に2人しか配置できていません。中学校には現在も1人ずついます。統合後は、できればですが、各学校に1人ずつ配置することを検討してもいいかなと思っております。ハード面・ソフト面、共に充実させて、みなさんと一緒に、気持ちを新たに良い学校をつくっていきたいと思っております。

平成26年度には南北中を統合し、28年度には新しい小学校をスタートさせたいと考えています。スムーズな統合に向けまして、みなさんの色々なご意見をいただきながら進めていきたく思っておりますので、ご協力をお願いしたいと思っております。よろしくお願いいたします。

《資料により説明》省略

《質疑・応答》

質問 今日の説明会はどのような趣旨なのか？実施計画に（案）と書かれているが、いつの段階で（案）が取れるのか？今日の説明会は、プロセスの中の、どの段階なのか？

回答 今回の説明会は、本日、南中地区と北中地区で開催し、12月には千代田中地区で開催する予定です。これらの地域説明会でご理解をいただいたと判断した段階で、（案）を取り、計画としたいと考えています。（案）を取り、計画とした上で、議会に条例の改正案等を提示しまして、議決をいただければ、本格的に予算化等を進めていこうと考えています。

質問 いろいろと細かい点を聞きたいと思うが、これまで保護者との意見交換会を開いたというが、現在学校へ行っている子どもの保護者だと思う。これから就学する子ども

もがいる保護者たちには情報がないのではないかと思う。それらの声を反映するには、今日のような説明会の場なのか？

回答 おっしゃるように、今日の説明会はそのように想定しております。8月は、現在、学校へ通っている子どもの保護者が対象でした。口コミで広がったり、問い合わせをいただいた場合には出席が可能であるという説明をしたりはしましたが、特段、説明の席を設けてはおりませんで、今回がそのような機会となっております。今回は、各保育所・保育園・幼稚園をお願いしてチラシを配布したり、就学児健康診断の際に案内をしたりして、なるべく多くの、これから学校に入る子どもの保護者の皆様にも参加していただこうとPRしてきましたつもりです。

質問 その結果が今日の状態か。非常に人数が少ない。しかも、体育館という大きな会場で人数が少なく、内心疑問を持っていても、恥ずかしくて発言しない方が多いと思う。このような、形式的なものだけではなくアンケートをとるような形はとれないか。私が来た目的は、基本的なことが分からないからだ。私の住んでいる柏崎の場合は、安飾小学校に通っていて、大体の距離は分かるが、北中学校になった場合には距離が正確にどのくらいなのか分からない。現在、何キロ通っていて、北中学校に通うようになったら何キロということが分からない。こういう情報を提示しなければ分からない。

回答 アンケートについては、学区審議会で答申をいただく前に1回アンケートを行っていますが、必ずしも、現在の、これから就学する子どもの保護者が回答する機会があったかといえ、完全には、そういうことではないと思います。時間も経っておりますので。これまでのところ、皆さんにご理解をいただく手法として、答申を踏まえた実施計画、いわゆるたたき台を作ることで、これで説明を申し上げて判断していただくということできておりましたので、また別にアンケートをとることは考えていません。今後、この計画を基に統合を進めていくということになれば、いろいろと細かく詰めていかなければならない事項が出てきますので、そのような機会を作るように検討させていただきたいと思っております。

距離については、自宅から新しい学校までの距離は、すべて明示はしていませんが、参考までに学校間の距離を入れた図があります。例えば、北中学校ですと、安飾小学校と北中学校の距離は2.7kmとなっており、佐賀小学校からですと4.4kmです。柏崎ということですと、その中間あたりの距離になってくるのかなというように見えます。どの道路が通学路になるか決まらないなかではありますが、主要な道路で結んだ場合の距離というのは出せますので、資料を整理していきたいと思っております。

質問 今日、来て見ると適正規模化実施計画（案）が作ってある。これはもう統合するということになっている。民主主義的ではない。学校をなくすというのは、子どもにとって大変なことだ。戦前は、学校教員の給与を村が負担していた。戦後は、国費と県費から、国民の税金から出ているが。そうやって守ってきたのを、適正規模に満たないからと簡単に廃校にすると決めてしまっているのか？決めるまでをみんなで考えなくてはいけない。教室の本質とはなんなのか？私自身は、子どもが中心だ。学校をなくして一番困るのは子どもだ。私は、今は牛渡小学校の学区だが、昭和 29 年に、つくば市の南部で教職に就いた。出島村へ移って志土庫小へ勤めた。38 年の仕事を、小田小学校で平成 4 年に終えた。その経験から言えば、子どもが中心ということは、具体的に言えば、自動車に乗るならば、子どもがどこから飛び出してもパッと止まれるように運転すること。これが子ども中心だ。我々は、校長を先頭にして子どもに仕えるわけだ。だから、無くすってことを決めている、案だが、学校の適正規模っていうのが、市報の 3 月号にあるという。それをみても決まっている。大事なことは、住民に聞いて、子どものためになるならやろうというのなら仕方がない。私は学校をなくすというのは反対だ。昔は牛渡村でやっていた。村の予算の半分以上を学校で使っていたのではないか。学校を建てるのは村。昔は学校をつくるのに村の予算だけでは足りないから、みんなが寄付を出していた。そういうことで、教育というのは非常に大事。その子どもたちが、やがて市を支えていくので、慎重にやってもらいたい。だから、今から戻せといっても、決まってしまうのでしょくないから、各地区で相談してもらって、説明に行く人は行ってもいいが、私は無くすべきではないと思う。適正規模というのは、多すぎて困るから適正規模にするというのはあるが、少ないから適正規模にするという、そんな馬鹿な話はない。教育は、金がないから学校をなくすなどという、そんな馬鹿なことはない。例えば、今月は金がないから米を食べないなんてことはしないでしょ？それほど大事だ。教育というのは。福祉も、いろいろな人がいるからみんなで助け合うのが福祉。それと同じだ。もう少し民主的にやってもらいたい。アンケートをとるなど根本からやらないと教育がだめになってしまう。人数が少ないからいい教育ができないなんてことはない、それでは家庭教師が成り立たない。そんなことはない。そのようなところを、やり直すというわけにはいかないだろうから、そういう意見があることだけ聞いていただきたい。

回答 お話にあった、子どもが中心であるという考えは、私どもも子どもを中心に考えています。各学校長も子どもを中心に考えて学校運営にあたってくれています。学校

をなくすということについて、結果的には学校をなくすということにはなるのですが、よりよい子どもたちの教育環境というものを考え、数人の子どもだけで、6年間、あるいは9年間過ごして社会性が身に付くのかということを考えてときに、学校はもう少し規模が大きくなって、いろいろな子どもやいろいろな先生、いろいろな大人と接する機会を多くすることも大事なことだと考えております。ですから、複式学級になってしまう。あまりにも少なくなってしまう。そういう状況を考えてときに、やはり統廃合が必要であるということでもあります。あいさつでも申し上げたとおり、寂しい気持ちはあります。学校を訪問する度に、この学校をなくしていいものかと考えさせられます。しかし、これからの子どもたちを育てていくには、若い人たちの考えというのも、統合してよりよい教育をしてもらいたいと思っているのではないかと感じているところです。長く学校運営に携わっていただいたPTAのOBの方々や学校の先生方には、非常に寂しいことだと思いますが、ご理解をいただきたいと思います。

質問　もう少し先に話し合いをしてほしかった。小学校に入っていない親の話も聞いてほしいということもある。私も、子どもがまだ小学校に入っていない。以前、統合に関するアンケートをとったときの資料をホームページで見ると、約半数の保護者が適正規模化しなくていい、現状でいいと答えている。それについては、どう思っているのか？保護者との意見交換会を1回やっただけで決めてしまうのは強引なのではないかと思う。もう一つ、どの程度の人数になったら適正規模化すべきだと思うのかという問いに、6、7割の人が、中学校だと1学校100人以下になったら適正規模化すべきだと答えている。実施計画を見ると、人数が少ない北中学校でも100人以下になる年度はない。実際、PTAとか、子を持つ親の意見が反映されていないのではないかと思う。経費を抑えたいから、一方的に統合すると言っているようにしか思えない。

回答　現状のままがよいという意見が出ることは予想されることです。さらに、どのような規模がよいかという聞き方では、1学校100人規模となったら統合したらよいという意見をいただいている。そのことに関して、どのような判断の材料を用意すれば、国や県でいうところの12学級ないし18学級という標準をご理解いただけるのかを考えて実施計画案を作っていました。皆様、例えば中学校が100人でもよいという判断をしていただくときには、さきほどの教科担任制の問題もごさいます。結果的に6クラスできるかどうかのところだと思いますが、そうすると教科担任がつかない教科が出る可能性がある。そのようなところまで、今回は資料の中で提示をしてご理解をいただきたいというようなことで、そのような意味合いで活用させてもら

っています。現状のままの方がいいということであるから、もう統合はしないという  
ような判断はしませんでした。もう少し突っ込んで、理解していただけるようにとい  
うことで、実施計画で具体的に提示して、今回の説明をさせていただくという意味で、  
活用させていただいています。

質問　　こういう説明会は大事だと思うが、適正規模化するために形式上やっているとし  
か思えない。結局、PTA の意見は聞かずに、やることはやるんじゃないのと思ってし  
まう。今回、具体的案を示したというが、小学生、中学生、もっと小さい子の親に、  
じゃあ説明したのか。その親たちに意見を聞いたのかということ、まず聞きたい。  
私は、正直、現状のままであれば、それが一番いいと思っているが、将来、適正規模  
化しても仕方ないのではないかと思っている。実際、周りのお母さんの話を聞いてい  
ても、「このままがよいけれど、仕方がないのかな、いつかは」という話はしている。  
やりかたが、ちょっと足りないのではないかなと思う。学校をなくすということは、  
結構、たいへんなことだと私も思うが、それに対して、各学校で 1 回説明会をやって、  
こうして、地域説明会を 2 回やって、それで議会にかけますというのはどうなのかと  
言いたい。もうちょっと、きちんと細かい対応をしていくべきではないのかなと思う。  
小学校の説明会も、やっている時間が夜の 7 時になってしまうと、父兄は忙しくて出  
られないという話を聞く。行きたい気もするけれど、強い意見を持っている人でもな  
ければ、ただ説明だけを聞きに、夜に子どもを持っている人が行くのは難しいと思う。  
だったら違う時間、小学生の保護者が集まる時間に、ちょっと時間をとって説明する  
とか、一方的に押し付けられている気がする。そのような、細かい対応をする気があ  
るのか聞きたかった。

回答　　PTA との関係については、実施計画の基礎になっているのは学区審議会の答申で  
すが、学区審議会には各 PTA から委員として参加いただいています。PTA の総意  
を汲み上げて答申を作っているとはまでは言えないかもしれませんが、一定の PTA の  
中での話し合いはもたれているものと考えています。そこまでの段階では、PTA の皆  
さんに説明をしていただく機会があったと思います。お話しのあったように、教育委  
員会が各学校の PTA の集まりごとに出向いて説明をするというような対応はとって  
きておりませんで、広報誌を通じたり、この前の意見交換会ということできめ細かく  
開催したりと考えましたが、これでは足りないとお考えなのだと思います。ちなみに、  
意見交換会については、むしろ皆さんのご都合を考慮して夜ということ考えたつも  
りでした。これは、8月1日から28日まで、お盆休みをはさみ、13日間、毎晩7

時からやりまして、都合が悪ければどちらの会場でも。という設定にしたつもりでしたが、夕飯の用意で忙しい時間帯であったのかもしれませんが。本日のような、日曜日の昼という設定もできればよかったかと思ったところです。

実施計画案ということで、もう決まってしまうというお話ですが、そのような受け止め方をされてしまうのかなとも思いますが、学校の適正規模化とか統合を皆さんに考えてもらうには、何らかのたたき台がないと、判断してもらう材料がないのではないかということで、この手法を選んだものです。なるべく細かにということで進めてきたつもりでしたが、足りない部分もあったかと思います。また、ご理解をいただけるような方法を検討させていただきたいと思います。

質問 計画を見ると1年後に中学校が統合ということになっているが、どのようにするつもりか。先ほどの2人も反対だし、私も現状ではどちらかというところと反対。何をされるのか。

回答 統合した方がよいというように、こちらで考えていることを理解していただけるような機会を続けていきたいと考えています。これから、北中学校でも、千代田地区でも説明会をやりますが、それぞれの会場において、これはやらないほうがよい、やるべきではないという意見が大勢を占めるようであれば、強行して統合をやることは考えられないと思いますので、多数決を採るわけではないので明確ではないかと思いますが、説明会の雰囲気の中で判断をさせていただきたいと思います。理解していただけるような、説明やPRを考えていきたいと考えています。

回答2 中学校の方が早くやりたいと思っています。今、北中には家庭科の先生はいません。これは、退職した先生に週に2日から3日、来てもらっています。英語の先生も1人です。去年、一昨年は国語の先生も1人でした。専門の教科の先生が5教科の中でも1人しかいないということがありました。もちろん、大学を出て、一生懸命研修をして、教員になっているので大丈夫かもしれませんが、やはり5教科の先生などは2人以上いて、教え方などを勉強し合いながら、教科の指導力をつけていく。それが子どもたちの力にもなっていく。入学試験の問題でも、新採の先生が、1年生から3年生まで、国語とか、数学とか、英語を1人でやるという場合もあって、その時には非常に不安に思いました。中学校は、子どもたちの教科の力をつける。そのためには、先生は2人以上いたほうがよいと思います。やはり、統合して1学年4学級以上になれば、5教科の先生は2人から3人になります。その方が、先生の力もつくし子どもたちの力もついてきます。進学の指導にも万全を期すことができるのではないかと考

えています。

質問 私は、統合の話は噂には聞いていた。今の6年生の親から、「子どもが1年生のころから話が出ている。いつになるかは分からないけど」とは聞いていた。統合によって、スクールバスが出ることは分かった。スクールバスは、登校時は何台くらい運行するのか？また、停留所は何箇所くらい設置するのか？

回答 スクールバスの台数については、1台のバスに停留所から学校まで乗っている時間をある程度に抑えなければならないと思います。他の自治体の先進事例を見ても、大体30分くらいに抑えている例が多いように思います。ですので、乗車することもが多くなれば、それだけ台数を増やして、1台の乗車時間が30分程度に抑えられるようなコースを考えなければならないと思います。停留所の数については、各停留所が自宅から近いほうがいいのだとは思いますが、狭い道などでどこまでバスが入っているかということも勘案しなければならず、また、停留所の数が増えると1台のバスの運行時間にも影響しますので、保護者と学校の間で調整していただいて、コース、停留所などを決めるというのが先進事例で多く見られる方法です。かすみがうら市でも、同様になると考えています。

質問 1台30分くらいの乗車時間ということは、登校時に出すバスの数というのは、何便か出すということでもいいのか？

回答 そういうことになると思います。先進の事例でも、大きくても中型程度のバスで10箇所程度の停留所を回って、30分から1時間で学校に到着するコース取りをしている例が多いようです。それを朝1便、帰りは小学校ですと低学年と高学年に分けて計2便運行している例がほとんどです。

意見 どれくらいの学校規模がよいのかということを見ると、教育の本質を見失う。問題は教師だ。子どもが中心なんだけれども、教師が、どういう条件であっても工夫して、ここまではできるぞということを追及しろと教わった。どんな規模であろうと、その良さを生かして、少なければ少ない良さを生かせる。そういう風に、校長を中心として、毎日が教育実践と教育経験の場であるように、そういう学校をつくるのが、今、必要になっている。そういう学校が少しずつできている。少ない学校になったから潰して、子どもが危ないからスクールバスを出すという方向は間違っていると思う。

私の友人に、岩手県と青森県の境辺りの校長をやった者がいる。そこから通知が来て、平成9年に、研究会をやるというので行った。中学校の全校生徒が13人で、校



長はいるが教頭も事務職も用務員もない。校長が全部引き受けている。そこで、体育と音楽の授業を公開して、オペレッタの合唱を堂々と発表した。そのように少ない人数でも、努力によってできる。児童数が少ないから統合するというのは間違えている。規模が小さいから適正規模化しないといけないという法律があるのか。私が勤めていた西成井の分校も廃校になったとき、親が反対して同盟を作った。先生を頼んで、教室を作って、先生の給料は親が払ったということがあった。そういう経験があるので、方向を間違えないようにしなければだめだと思う。つくばでも、私がいた小田小学校も、小田村では小学校を3校抱えていた。2校が少人数で片方がなくされた。そのときにも、常陽新聞に3回、こういうことはだめだと言った。いま残っている学校が、全校生徒20人程度だが、今年で終わらせられる話がある。大つくば市になって、小田村でさえ小学校を3つ支えてきたのに、大きな市になったのになぜ支えられないのかというようなことも書いた。そういう、方向を間違わなければ、子どもたちは、すくすくと育つと思う。

スクールバスがあるからいいだろうということで始まった学校が、首長が替わると予算がないということでスクールバスをやめたことが多いようなので、よく調べてほしい。スクールバスがあるから何とかなるだろうというのは芳しくないと思う。

質問 今、中学校3年生と1年生の子どもがいる。実際に中学校に通わせている保護者の立場で、上のこの学年は2クラスで、下の子の学年は3クラスだが、2クラスの方がよいとは感じない。子どもたちにとって、色々な行事をしたり、交流したり部活動をしていく中で、2クラスよりも3クラスあった方がよいと感じている。今、中学校でどうなのかで止まらずに、今後、高校生になって、もっと大きくなって成長していくときに、どのように人間関係を作っていくのかということが非常に心配なので、ある程度の人数がいて、人間関係があって、そこで先生たちの支援をいただけるという環境が一番ありがたいと思っている。

そこで、確認したいが、今回の資料でも説明の中でも、小中学校の実施計画案という話だが、この計画は、小学校と中学校を分けたものではなく、小中学校両方の計画なのか？質問の意図としては、中学生の保護者としての心配と、これから小学校に子どもを送り出す保護者が心配や期待することは違うのではないかと考えるため、質問をした。

回答 現在の計画の中では、市立小中学校全体の適正規模化計画となっています。ご指摘のように、小学校と中学校では目指すところが違うということは確かにあると思

ます。そういった中で、先進の事例としては、全体の計画は構想として持っていて、各学校個別の計画を策定しているような例もありました。小学校と中学校を分けているというのは見たことはありませんが、実施計画の中に「理解を得られた順から実施することもある」とあるように、計画を別にするということが想定しなければならないと思いますので、そういう際には、このご意見も参考にさせていただきたいと思います。

意見 中学校3年と1年の子どもがいる。私は、すでに学校統合の方向で考えている。子どもが小学生のころに、アンケートをもらって、いずれはそういう方向になると受け止めていた。

先ほどの質問の中で、半分くらいの保護者が学校の統合に疑問を持っているという話だったが、個人的には、2人の子どもを育ててきた経験では、子どもたちの考え方が複雑、多様化している中で、人間関係が非常に難しく、人数が少なく、特に小学校で1クラスだったりすると、同じ人間関係を6年間保っていくことに困難が生じた場合には、最低でも2クラスあると、もし1年生でダメだったときには、次のクラス替えに、親としては少なからず期待ができる。

ましてや、中学校になると、もっと色々な意味で複雑になって思春期を迎え、親も子どもも悩みながら生活する中で、クラス替えというのは非常に重要だと思う。これまでは、少ない人数が当たり前としてやってきたと思うが、時代の変化や子どもたちの変化によって、小学校の6年間、ましてや中学校を含めた9年間をずっと続くというのは、場合によっては厳しいのではないかと。人数が少なくなって、学校がなくなることは残念ではあるが、つまりいている親子にとっては、クラス替えができることが一筋の光となることもあるので、私の中では受け入れている。

質問 こういう時代だし、施設の耐震化にも多額のお金がかかるということもあり、私の経験から言っても、水槽が小さいと、それに合わせて魚の体の成長が止まるという話も聞くので、大きな器に入れれば人間的な器も大きくなるのではないかと期待感がある。そういう意味では、時勢の流れであり、大きなメリットもあるので、統合に反対しているわけではない。

ただ、今回の説明会は南中と北中でやるようだが、実態に即した、父兄の心理に即した、細かい地区でやってもらいたい。例えば、安飾小学校の学区に、いくつも集落がある。それぞれ、北中学校跡の小学校へ行ったときに、どのような問題があるのか、

どのような安全策を講じてもらえるのか、そのような小学校単位の説明会をやってほしい。それができなければ、実施計画にある検討委員会で、細かい問題が汲み上げてもらえると思うが、きめ細かな、反対の人がいれば、賛成の人も、止むを得ないという人もいるが、細かい心配を解消してくれるのかというような問題を抱えている。そういう問題に対応できるような検討組織、あるいは説明会をやってもらいたい。大きな会場でやっている、話も、大きいものから小さいものまであるので、あまり小さい質問をしてもどうなのかと考えてしまう。

回答 学校に設置する検討委員会は、どんな細かいことでも検討の対象としていく組織として想定しています。この検討委員会は、統合する前提で調整を図る組織ですので、その前段でご理解を得るといふ趣旨では適わないかと思いますが、ご心配のような、どんな細かい部分でも汲み上げて調整するということでは、この組織を使わせていただきたいと考えています。今後、もっと細かな説明会をというご意見ですが、この実施計画をご理解いただいて、不安を払拭するという意味で、今後、いろいろな説明会を設けることを検討させていただきたいと思います。

質問 この学校統合の主導は、学校が中心なのか、地域の問題なのか、国や県の指導があったからなのか？

回答 国が、少子化の進展があって学校経営の課題という点から統合を推進しており、茨城県でも、それを受けて指針を策定しています。それらを受けて当市でも、児童・生徒数の減少が顕著であり、教育環境を考えたときに、どのようなかたちが一番望ましいかということで、学区審議会等で検討をしてきました。

質問 統合した場合の協議事項はたくさんあると思うが、環境整備は、例えば通学路の安全とあるが、歩道や車道の整備、信号機・横断歩道の設置は、早期に設置できるよう働きかけるとかかっているが、絶対に26年度までに全部整備できるということなのか？それとも統合後も継続して整備するということなのか？

回答 道路については、市が管理するものばかりでなく、国や県が管理するものもあるので、我々としてはお願いをしていくという立場です。よって、統合までに全てを絶対できるのかという質問については、お約束はできません。学校の場所が変わることによって、新たに通学路となる道路もあると想定されます。これについては、今まで進めてきた通学路の整備計画とズレが生じますので、完全にというお約束はできません。ただし、子どもたちの安全の確保、スクールバスについても、運行すれば完全に安全が

確保できるというわけではないので、検討組織等で危険箇所の洗い出しをしながら進めていきたいと思えます。安全については、道路や安全施設整備だけではなく、保護者や地域の方のご協力を得なければ、安全の向上を図ることは難しいので、道路管理者だけではなく、みなさまにもご協力をいただきながら進めていきたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。

意見 優先順位はあると思うが、地域全体を考えて、絶対に事故がないような環境をつくってほしい。

質問 美並小は現在 200 人程度、統合後は 400 人規模になるが、美並小学校にはどれくらいまで人数を受け入れられるのか？

回答 美並小学校については、統合後に 400 人規模になる際に、教室数が不足するので 6～8 教室の増築が必要だと考えています。現在、その他の教室として使われている教室を普通教室とすることも含め精査したいと考えています。もし、この実施計画が実現するということになれば、増築等の必要な整備を実施したいと考えています。

《おわりに》

今回の説明会につきましては、賛否両論というご意見をいただきましたけれども、学区審議会の答申に基づき実施計画案を作成いたしまして、ご理解をいただけるようご説明を申し上げたところです。

まだ、いろいろのご意見はあると思えますけれども、今後とも、理解していただけるようご説明を申し上げながら、今後のことについて検討していきたいと思えます。今日の夕方には、北中でも説明がありますので、これで終わりにさせていただいて、個別に意見があれば、また直接いただきたいと思えます。

私どもとしては、この計画案を基に、今後、事業を進めていきたいと考えておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

以上をもちまして、説明会を終了させていただきます、長時間にわたり、誠にありがとうございました。